

## 8月2日：VN指数は8月に下落か

ベトナム株は4週間連続の上昇の後に世界市場のネガティブなニュースの中で先週は下落することになった。

短期的に投資家が利益を得ることが難しくなっており、下落トレンドが続くと予想されている。

ホーチミン取引所のVN指数は991.10ポイントで取引を終え、週間ベースで0.22%ほど下落した。

6月27日から7月26日までの4週間で5.32%ほど上昇して以来、初めて下落した週となった。

外国人投資家は4610億ドンを売り越した。出来高平均は1億7700万株で売買代金は4.43兆ドンだった。

米中貿易摩擦の改善が見られなかったことを受けて投資家は勢いを失い、ラリーは止まることになった。

米中両国の対話が同意なしに終わったことを受けて、トランプ大統領がの3000億ドルの中国製品に10%の追加関税を課するというアイデアによって市場は打撃を受けた。

トランプ大統領のつぶやいたそのアイデアは9月1日に有効になり、世界経済減速が危惧される中で米中関係がより悪くなることは明らかであった。

一方、FRBの決定会合の結論は50ベースポイントではなく、25ベースポイントの利下げという結果だった。

利下げは織り込み済みであった。しかしながら、世界の投資家が懸念していることはFRBは今後の利下げに消極的で米国経済に強気であるということだった。

ペトロベトナム証券のLe Duc Khanh氏によると、米国政治の不安定さは世界経済と株式市場のボラタイルな動きを引き起こすとのことだった。

これらの決定は世界の中央銀行の政策や石油、金などの商品にも影響を与えるので、世界の株式市場は今週も下落するかもしれないとされている。

3月以降、ベトナム株は世界のニュースと国内要因の影響をあまり受けていないと Viet Dragon 証券の Hoang Thach Lan 氏は語った。

8月には米中は貿易戦争の激化の中で、リングに戻ると予想される。さらなる厳しい決定やネガティブなニュースが予想され、市場心理は悪化していくだろうと同氏は語った。

世界的なニュースに加えて、ベトナム市場の国内の買い需要は企業業績が予想を下回ったこともあり、それほど強くないとされている。

BIDV 証券によると、693社（93%）の上場企業が第2四半期決算を発表した。

第二四半期の決算で税引き後利益で108兆ドン（46.4億ドル）を稼ぎ出したが、3.4%ほどの小幅な上昇にとどまった。

51%の企業が業績の改善を見せ、12%の企業が損失を計上した。

しかしながら、多くの利益は2/3の利益が大型株から来ているように、大型株が大きく全体に貢献している。

銀行が最も大きな割合を占め、総利益の15.6%を占めていた。

つまり、中小型株は置き去りにされているということの意味している。

バオベト証券によると、企業業績はサポート要員にはなり得るが、市場を上昇させる大きな要因にはならないとのことだった。

7月3日の時点で、ベトナム株のPEレシオは16.6倍で、PBレシオは2.4倍だった。これらはその他のアジア諸国と同水準である。

企業業績は、売上と利益が鈍化していることを示していると BVSC は6か月のマクロ経済レポートで語った。

EPS の伸びは昨年のように高いレベルで維持することはできないかもしれない。企業業績は 2017 年や 2018 年のように市場を上昇させることまではできないかもしれないが、依然としてサポート要員にはなっている。

---

### ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。